



※このセミナーは終了しています

第7回

英語教育を考えるフォーラム in Okinawa

- 沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育 -

趣旨

グローバル化が急速に進展し、国際的な相互依存が一層深まっていく中で、子どもたちが21世紀を生き抜くためには国際共通語としての英語のコミュニケーション能力を身につけることが不可欠です。沖縄県では、国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築が求められ、本県の振興に貢献できる志を持った人材の育成や世界との交流ネットワークの構築、国際感覚を有した人材育成の形成が喫緊の課題です。本フォーラムは「英語立県沖縄」応援事業の一環として捉え、「沖縄の地域性・優位性を活かした英語教育」をコンセプトに本県の英語教育の改善・充実に資することを目的に開催いたします。

基調講演



○講師: **向後秀明** 氏
(文部科学省教科調査官)

○演題:
大変革しつつある日本の英語教育：小学校から大学まで

その他フォーラムでは、グローバル人材育成に取り組む団体からの報告(10:00~12:00)や小・中・高・大学の英語教員によるシンポジウム(15:10~16:55)を行います。

日時・場所

平成27年 **2月14日** (土)

10:00~17:00 (9:30 受付)

於: **沖縄産業支援センター**

(那覇市小祿1831-1 TEL: 098-859-6234)

入場
無料

- 主催: 沖縄の英語教育を考える実行委員会
- 共催: 日本英語検定協会・沖縄県国際交流・人材育成財団・琉球新報
- 後援(予定): 沖縄県・沖縄県教育委員会・沖縄県高等学校英語教育研究会・沖縄県中学校英語教育研究会・在沖米国総領事館
- 特別協賛(予定): 日本英語検定協会・旺文社・チエル
- 協賛(予定): 日経教育グループ・沖尚グループ・NPO法人沖縄県国際理解・異文化交流支援センター・EIL・オーストラリア・ビクトリア州政府駐在日日本代表事務所・NPO法人沖縄語学センター・在沖米国商工会議所 他

第7回英語教育を考えるフォーラム in Okinawa ～沖縄の地域性・優位性を生かした英語教育～

1 趣旨・目的

グローバル化が急速に進展し、国際的な相互依存が一層深まっています。子供達が21世紀を生き抜くためには、国際的共通語としての英語のコミュニケーション能力を身に付けることが不可欠です。しかし、現状を見ていくと、私たち日本人の多くが、英語力が十分でないために、外国人との交流・交渉等において、制限を受けたり、適切な評価が得られていないといった事態が生まれているのも事実です。我が国の英語教育は、これまでも、その効率と効果の点から多くの指摘がなされてきました。小学校からの英語教育（活動）、高校の授業は基本的に英語で行うこと、大学における国際化推進プログラム、民間企業でのツールとしての英語の導入等は変革の兆しを表しています。しかし、これまでと異なった外国語教育の政策等をしっかり策定・実施しなければ、国際社会に取り残されてしまうのではないかという懸念を払拭することはできません。まさに今は「**変革の最後の機会**」と捉えるべきです。「**英語が使える日本人**」を育成することは、子供達の将来のためにも、我が国の一層の発展のためにも重要な課題であるという認識を社会全体で持つべきです。

沖縄県では、国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築が求められ、本県の振興に貢献できる志を持った人材の育成や世界との交流ネットワークの構築、国際感覚を有した人材育成の形成が喫緊の課題です。このような背景から生まれたのが「**英語立県沖縄**」構想です。

本フォーラムは「英語立県沖縄」応援事業の一環として捉え、「**沖縄の地域性・優位性を生かした英語教育**」をコンセプトに、それぞれの立場で、それぞれに改善に取り組むことにより、本県の英語教育の改善・充実に資することを目的とします。

2 実施・運営

- | | |
|------------------|--|
| (1) 期 日 | 平成27年2月14日(土) 10:00～17:00 (9:30 受付) |
| (2) 会 場 | 沖縄産業支援センター (那覇市小録 1831-1 TEL:098-859-6234) |
| (3) 主 催 | 沖縄の英語教育を考える実行委員会 (主管: 沖英会) |
| (4) 共 催 | 日本英語検定協会 沖縄県国際交流・人材育成財団
琉球新報社 |
| (5) 後 援 | 沖縄県 沖縄県教育委員会 沖縄県高等学校英語教育研究会
沖縄県中学校英語教育研究会 在沖米国総領事館 |
| (6) 特別協賛
(予定) | 日本英語検定協会 旺文社 チェル |
| (7) 協 賛
(予定) | 日経教育グループ 沖尚グループ NPO 法人沖縄県国際理解・異文化
交流支援センター EIL オーストラリア・ビクトリア州政府駐日
日本代表事務所 モンタナ州政府駐日日本代表事務所 ヒューマングル
ープ NPO 法人沖縄語学センター 在沖米商工会議所 他 |

(8) 内 容

- ①報告：グローバル人材育成に取り組んでいる団体の紹介 (30分×4団体=120分)
- 英検協会 (古畑儀行氏)：英検と英語教育の紹介 (仮題)
 - 沖縄尚学高校・同付属中学校 (名城政一郎氏)：国際交流等の紹介 (仮題)
 - 琉球大学 (石川隆士氏)：琉大津梁カレッジ構想から：英語資格試験を基盤としたグローバルスタンダードの構築
 - 沖縄県国際交流・人材育成財団 (葛孝行氏)：県全体の人材育成プログラム等の紹介 (仮題)
- ②基調講演 (100分程度)
- 演題：大変革しつつある日本の英語教育：小学校から大学まで

- 講師：向後秀明氏（文部科学省教科調査官）
- ③シンポジウム（100分程度）
- テーマ：実践的英語コミュニケーション能力をいかに育むか：私の授業実践から
- 発表者：
- 小学校の部：平良優（宮古島市立南小学校）
 - 中学校の部：上原明子（嘉手納町立嘉手納中学校）
 - 高校の部：グレイ雅美（県立北山高校）
 - 大学の部：呉屋英樹（琉球大学）
- コーディネーター：金森強（関東学院大学教授）
- (9) 対象：小学校から大学までの教員及び学校関係者・研究者・学生・院生並びに英語教育に関心のある方（企業関係者を含む）
- (10) 定員：約200名（**先着順**とさせていただきます）
- (11) 申し込み締め切り：平成27年**2月6日（金）**但し定員に余裕のある場合に限り当日受け付け可能
- (12) 参加費用：無料
- (13) 情報交換会：参加費（500円）**2月6日（金）**までに事前に出欠をお知らせ下さい。なお、会費は当日徴収します。
- (14) 日程

月 日	時 間	内 容	備 考	
2 月 14 日 (土)	9:30~10:00	受付	主会場	
	10:00~12:00	報告（4団体×30分=120分）	主会場	
	12:00~13:00	昼食		
	13:00~13:05	開会行事	主会場	
	13:10~14:55	基調講演(100分)	同	
	15:10~16:55	シンポジウム（100分）	同	
	17:00~17:05	閉会行事	同	
	17:30~18:30	情報交換会(60分)	同	